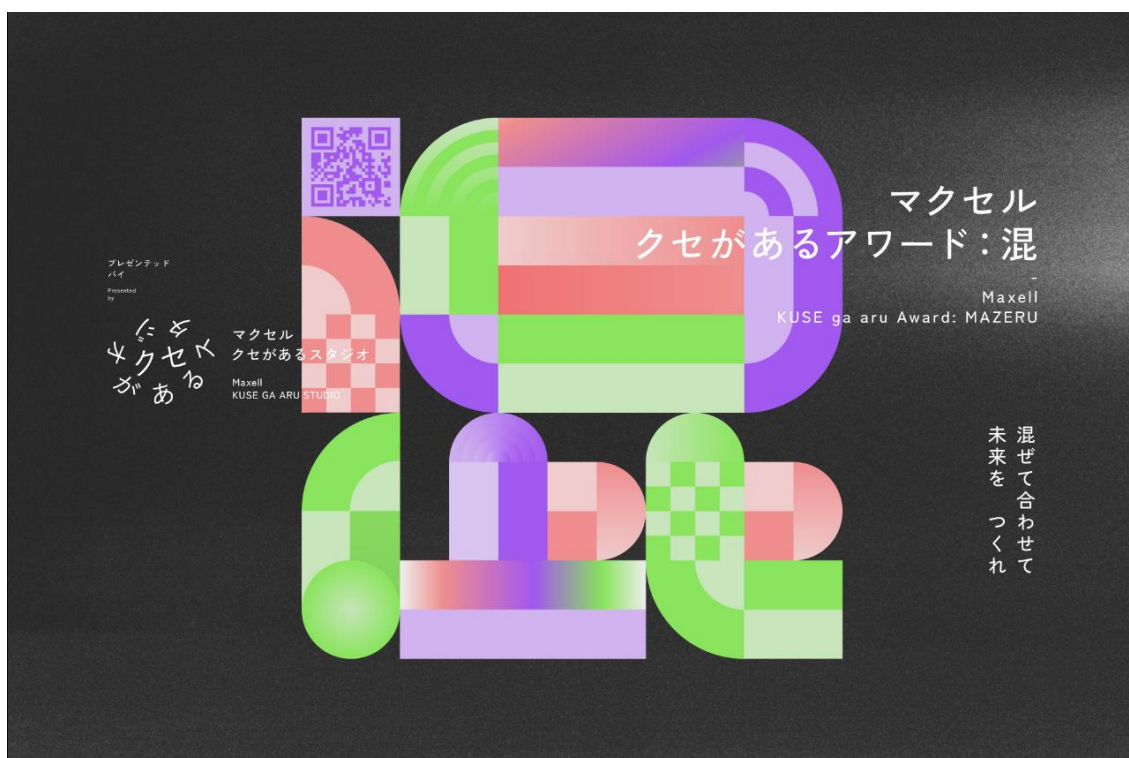


2024年4月1日
マクセル株式会社

マクセル主催アート&テクノロジーアワード「クセがあるアワード」募集を開始 「混(まぜる)」をテーマに、創造性の原点となる“クセ”を支援



マクセル株式会社(取締役社長:中村 啓次/以下、マクセル)は、次世代のクリエイターやイノベーターのチャレンジを支援するアート&テクノロジーアワード「マクセル クセがあるアワード:混」への募集を本日4月1日より開始します。

マクセルは「アナログコア技術」「複雑で繊細な領域のモノづくり」という価値観を創業以来大切にしています。マクセルと次世代を担うアーティストやクリエイター、これまで出会わなかった感性やテクノロジー、創造性が混ざり合うことで、新たな価値を生み出すことをめざしています。

このたび開催する「マクセル クセがあるアワード:混」は、次世代のクリエイターやイノベーターのチャレンジをマクセルが支援するアート&テクノロジーアワードです。記念すべき第1回目のテーマは「()と()をまぜてみた」としました。夏にはアート&テクノロジー・ヴィレッジ京都の「クセがあるスタジオ」(京都府大山崎町)にて、ファイナリスト8名/グループによるグループ展を予定しています。アート&テクノロジーが介在していれば、形式は問いません。荒削りでもユニークと思えるクセ(=個性、創造性)がある作品をお待ちしています。

ニュースリリース、お知らせに記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、
発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日時点のものです。
予告なしに変更され、発表日と情報が異なる場合もありますので、あらかじめ
ご了承ください。
